

設立趣旨

我が国は、豊かな自然と四季に恵まれ、私たち日本人は、様々な山海の恵みを食生活に取り入れ、地域特有の食文化を発展させるとともに、自然との調和や人と人との繋がりを大切にしてきました。しかし、近年、農業技術の発展、生産及び流通の合理化等によって、私たちは年間を通じて様々な農林水産物を食することができるようになった一方で、食卓から季節感や地域性が薄れると同時に、「つくる人」と「たべる人」の距離が広がり、お互いの思いが届かなくなっています。

更に、都市部に目を向けると、人間関係の希薄化に伴う地域コミュニティの崩壊等が問題となっているなど、これまで私たち日本人が大切に育んできたものが急速に失われつつあります。

こうしたなか、2009年度より始まった「マルシェ・ジャポン・プロジェクト」は、都市型市場（マルシェ・ジャポン）を通じて「つくる人」と「たべる人」を直接結び付ける新しい流通の仕組みを確立しました。

これにより、都市の食卓に四季折々の多様な食材が届きはじめたことはもとより、「たべる人は、つくってくれた人に感謝しながら食べ、つくる人は、笑顔で買ってくれた人を思いながら心を込めてつくる。」といった、人と人がつながる幸せや温もりが広がりはじめているほか、マルシェ・ジャポンが定期的開催されることにより、そこに集まる人々の「気づき」や「学び」の場となっているなど、マルシェ・ジャポンの大きな可能性が明らかになりました。

今後、これらの活動をより発展させ、継続的な経済社会システムとして定着させていきたいと考えておりますが、それを実現するためには、活動の支援や運営を行う組織が必要であると考え、当法人の設立に至りました。

私たちは、これまでの取組成果を踏まえ、マルシェ・ジャポンの普及事業等を通じて、日本の農業や社会が抱える様々な課題に対し前向きな解決策を生みだし、日本の農業の発展、人々が思いやりをもって笑顔で豊かに暮らせる社会の実現に寄与して参りたいと考えております。